

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	人工呼吸器装着後の ALS 患者と家族の療養場所の選択と退院後の生活調整に関わる熟練した入退院支援看護師の思考と実践のプロセス	
1. 研究の目的と方法	熟練した入退院支援看護師が、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の方とご家族の療養場所の選択や退院後の生活を継続していくためのサービス調整に関わる中で、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の方とご家族の状況をどのように捉え、どのように考えて実践したのか、その思考とプロセスを明らかにすることです。研究協力者様（対象となる看護師の方）が経験した、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の方とご家族への支援について、対面でインタビューをさせていただきます。	
2. 研究期間	2024 年度倫理審査承認日～2025 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	神経難病患者の看護経験のある 10 年目以上の看護師の方。または現在入退院支援に関連する部署で入退院支援業務に携わっている、または携わっていた経験を有する方。 上記のいずれかに該当される看護師の方で、初めて人工呼吸器装着した ALS 患者・家族への入退院支援を少なくとも複数例経験している看護師の方。さらに上記に該当する方で、日本看護協会認定「認定看護師」、「専門看護師」、日本難病看護学会認定「難病看護師」の資格を有する方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	<ul style="list-style-type: none">・対象の看護師の方よりインタビューの中で語られる患者の方の診断名、性別、年代、家族構成と介護者（介護にあたる家族員と続柄）・対象の看護師の方よりインタビューの中で語られる患者の方とご家族が侵襲的人工呼吸器装着にいたるまでの療養生活の経過、人工呼吸器装着後の療養場所の選択に関する意向と決定した療養場所。・対象の看護師の方よりインタビューの中で語られる患者の方とご家族へ、対象の看護師の方が侵襲的人工呼吸器装着後の療養場所の選択と必要な支援を検討し、利用できるようにするために、どのような支援を行ったか。
	(4) 情報の取得の方法	インタビューにおいて、対象となる看護師の方が経験した、筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の方とご家族への支援についての語りから得ます。

5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科看護学専 攻博士前期課程
		氏名	萩野 裕夏
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024年度倫理審査承認日（2024年9月中旬頃～）		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科看護学専攻博士前期課程 研究責任者：萩野裕夏（はぎのゆか） 電話番号：03-3433-1111（内線）2311 対応時間：9時～17時/土日祝日を除く		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。